

標準委員会 システム安全専門部会 炉心燃料分科会
第 33 回 (S1SC33) 議事録

日 時：2025 年 1 月 8 日(水) 10:00～12:00

場 所：オンライン会議にて開催

出席者（敬称略）：

委員：阿部主査（東大）、北島副主査（電中研）、黒崎幹事（京大）、牟田委員（阪大）、
大石委員（阪大）、天谷委員（JAEA）、河村委員（電中研）、本谷委員（東芝 ESS）、福田委員（MHI）、
安田委員（日立 GE）、草ヶ谷委員（GNF-J）、笹川委員（NFI）、鶴田委員（東電 HD）、
田伏委員（関電）、勝部委員（原電）、計 15 名
（欠席委員 2 名：大川委員（電通大）、鈴木委員（JANSI））

委員候補：成川_{委員候補}（東大）計 1 名

常時参加者：根本、山下、逢坂（JAEA）、久保（NFI）、大脇（東芝 ESS）、金子（GNF-J）、佐藤（MHI）、
中西（原電）、北野、金子（NRA）、宇多（関電）、中山（日立 GE）、坂本（NFD） 計 13 名
オブザーバ：村上（MHI）、計 1 名

全 29 名出席（オブザーバを除く）

配付資料：

S1SC33-1 第 32 回分科会議事録（案）

S1SC33-2 人事

S1SC33-3-1 「原子力発電所における先行照射燃料の導入に係る実施基準」（本報告）に
対するシステム安全専門部会からのコメントと対応案

S1SC33-3-2 「原子力発電所における先行照射燃料の導入に係る実施基準」に関する
自主チェック結果

S1SC33-3-3 「原子力発電所における先行照射燃料の導入に係る実施基準」修正案

S1SC33-4-1 技術レポート「発電用軽水型原子炉の新設計燃料の安全性を確認する考
え方」のコメント対応状況

S1SC33-5 2025 年度標準 5 か年計画（炉心燃料分科会所掌）の更新について

1. 出席者確認

阿部主査によって出席者が確認された。委員出席者数は 15 名であり、分科会の定足数（委員数 17 名の 2/3 以上）を満たすことが確認された。

2. 人事について (S1SC33-2)

阿部主査が上位のシステム安全専門部会の主査に選任されたことを受け、1月31日付で主査退任となることが報告された。

分科会委員の互選により JAEA 天谷氏が新主査に選出された。

天谷新主査により、牟田委員（阪大）が副主査に指名された。

成川委員候補（東大）の分科会委員への就任について審議され、承認された。

幹事には、天谷主査と牟田副主査から、今回から委員に選任された東大・成川先生が指名された。なお成川委員候補の委員承認は2月6日のシステム安全専門部会で諮られる予定であり、システム安全専門部会の承認を持って正式に幹事就任となる。

常時参加者について、大川常時参加者(NRA)の登録解除の報告がなされ、阿部常時参加者(東大)の登録が承認された。

3. 第31回分科会議事録(案)の確認 (S1SC33-1)

阿部主査より、第32回議事録(案)が報告された。当該議事録は、分科会委員には事前置き送付されており、すでに確認されており、分科会終了時点で、(案)をとって確定した。

4. LUA 実施標準 システム安全専門部会コメントへの対応について (LUA 検討WG) (S1SC33-3-1、S1SC33-3-2、S1SC33-3-3)

資料 S1SC33-3 に基づいて電中研・北島委員より、システム安全専門部会からのコメント対応の状況について報告があった。特に、標準の名称変更や定義の見直し、4章の構成変更など、重要な修正点について説明された。

説明の大半については既に前回分科会で方針を説明しており、大筋異論がなかったことも踏まえ、短時間ではあるが1週間にて再度分科会委員にてレビューの上、分科会案として決定することとした。

また北島委員から JANSI 鈴木委員に対して、システム安全専門部会でのコメントへの回答の個別説明を実施した際に、主に標準としての記載ぶりに関する指摘があったことから、これらの指摘については LUA-WG メンバーで対案を作成の上、分科会委員にメールで諮り審議・決定することとした。

以上を踏まえ、2月6日のシステム安全専門部会での説明に向け、LUA 標準の新旧比較表を作成し配布するとともに1月22日を目途に委員レビューを完了し決定することとした。

5. ATF 技術レポートの進捗状況について (ATF 検討WG) (S1SC33-4-1)

資料 S1SC33-4-1 に基づいて、佐藤常時参加者 (MHI) から、ATF 技術レポートの策定の状況について説明があり、構成見直し案と今後の作業計画が共有された。文章構成の見直し案や新設計燃料の開発フローについて説明しました。特に、わかりやすい記載構成への変更や適用範囲の明確化が議論され、検討を継続することとなった。次回分科会に ATF 技術レポー

トの構成見直し案を作成し提出することとなった。

6. 標準 5 か年計画 (S1SC33-5)

MHI 福田委員より、2024 年度版の 5 ヶ年計画について、技術レポートの改訂スケジュールや LUA 標準、ATF 技術レポートの進捗状況が詳細に説明された。特に、2026 年度末の最終報告に向けた準備状況が共有され、方針決定した。2 月 6 日のシステム安全専門部会へ報告される予定。

以 上